

1. 住みたい・働きたい理由

ライフデザインチーム

- 自然・観光資源：「海がある」「江の島」「観光地が多い」「自然や遊び場」
- 子育て支援：「子育て支援制度が充実」「生活支援が充実」
- 交通利便：「交通アクセスが良い」「鉄道路線が多い」「商業施設が多い」「アクセスが楽」
- 安全・安心感：「工場が多く市が裕福で安心」

居場所チーム

- 生活環境・地域愛着：「住み慣れた街」「海が近い」「辻堂がおしゃれ」「ふじキュンがかわいい」「地域のお祭り」
- 交通アクセス：「鉄道が便利」「都市部・東京へのアクセスが良い」
- 子育て支援：「子育てに強い」「支援が多い」

政策チーム

- イベント・文化：「様々な場所、イベントが楽しい」「都会的側面と自然の調和」「有名なまち(江の島)」「愛着がある」
- 生活利便性：「道や施設の場所を知っている」「不便を感じない」「程よい人口」「交通網が良い」
- 子育て環境：「子育てしやすい」
- 地域ブランド・国際交流：「湘南の空気感」「グローバルで国際交流可能」

2. 改善希望点

ライフデザインチーム

- 交通格差：「北部と南部で交通の利便性が違う」「北部の道路補修不足」
- 騒音・治安：「バイクの騒音」「外国人観光客増加で治安悪化」「藤沢駅周辺の治安」

居場所チーム

- 公共交通改善：「路線バスの本数増・自動運転・ユニバーサルデザイン化」「自動運転バス実証希望」
- 北部環境改善：「北部環境を住民優先で良くしてほしい」
- 治安改善：「駅周辺の治安向上」「夜間治安の不安」「夏の海の治安悪化」
- 地域交流：「自治会減少による交流促進」「ふじキュン普及」「学生施設充実」
- 混雑・交通乱れ：「駅の混雑」「交通の乱れ」「ここでなくても働ける」

政策チーム

- 観光と住環境のバランス：「オーバーツーリズム問題への配慮」
- 交通不便：「夜間や土日の駅やバスがなく帰宅困難」
- 環境・治安：「水害への不安」「駅周辺の清潔感改善」「治安悪化」
- 地域認知：「江の島以外の地域知名度向上」「藤沢の情報発信不足」

3. チーム間共通のポイント

共通の強み：自然環境の豊かさ、交通アクセスの良さ、子育て支援、地域文化への愛着

共通の課題：交通利便性の地域差、治安の悪化、公共交通の夜間・休日不足、地域交流の減少、情報発信不足

4. まとめ

藤沢は「自然」「交通」「子育て」「地域文化」が若者にとって住み続けたい魅力の核。

同時に「交通格差解消」「公共交通の充実」「治安対策強化」「地域交流促進」「観光と住環境の調和」「情報発信強化」が重要な改善課題。

自動運転バスの導入や学生向け施設の導入、ふじキュンの活用など若者視点の施策提案もあった。

都市マスタープランの意見聴取の状況

